

2001年(平成13年)7月10日 第847号 毎月10日/25日発行

第10回ほたる祭り

7・10 2001

## Contents

- 2 合併について、あなたはどう考えますか？
- 4 投票に行こう！7月29日は、参議院議員選挙
- 6 次代につなげ「米百俵」
- 8 いにしえの風～豊原遺跡の動物遺体～
- 9 主役は、あなた 「町つくりふれあいトーク」
- 10 がんばりました スポーツ大会結果
- 11 6月から、し尿の収集が変わりました
- 12 まちの話題 フォト・アラカルト
- 14 情報満載 町のお知らせ

# 合併について、あなたはどう考えますか？

現在の市町村の区域が形づくられたおよそ50年前に比べ、住民の日常生活圏、行動圏は確実に広がっています。また、地方分権の時代を迎えて、住民の最も身近な自治体である市町村は、住民の生活実態にあった行政サービスを、自らの責任と判断のもとに提供することが求められています。

国では、平成11年7月に「市町村合併の特例に関する法律」を改正しました。これは、行政の効率化を図るために、ある程度の人口規模や財政力が必要であり、市町村合併を積極的に推進する必要があるとの判断によるものです。

こうしたことなどを背景に、今年1月に新潟市と黒埼町が合併したのをはじめ、各地で市町村合併に向けた動きが活発化しています。県は合併を促進するために「市町村合併促進要綱」を策定し、今年2月に発表しました。これらの内容を紹介しながら、合併について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

## ◆常時居住している市町村以外への通勤通学者割合（県全体）

項目	昭和50年	昭和60年	平成7年
就業・通学者数(A)	1,383,100人	1,410,725人	1,472,996人
他市町村への就業・通学者数(B)	221,930人	294,723人	390,765人
比率(B)/(A)	16.0%	20.9%	26.5%

\*データは国勢調査より

済活動の活発化に伴い通勤・通学や買い物、医療など住民の日常生活の行動範囲は、現在の市町村の区域を超えてますます拡大しています。そのため、より広域的な観点から効率的で魅力的なまちづくりが求められています。

5. 財政上の課題

住民ニーズの多様化や介護保険、ダイオキシン対策、生涯学習、情報化など新たな課題に対応するため、市町村には財政基盤の強化や専門職の確保、企画立案能力を備えた職員の養成などが求められています。

しかし、国、地方とも財政状況は悪化しており、県内の市町村でも財政力が弱い団体が多く、一段と厳しい財政状況にあります。

こうしたなか、市町村が増加するさまざまな課題に対応していくためには、「行政財政基盤の強化」が求められています。

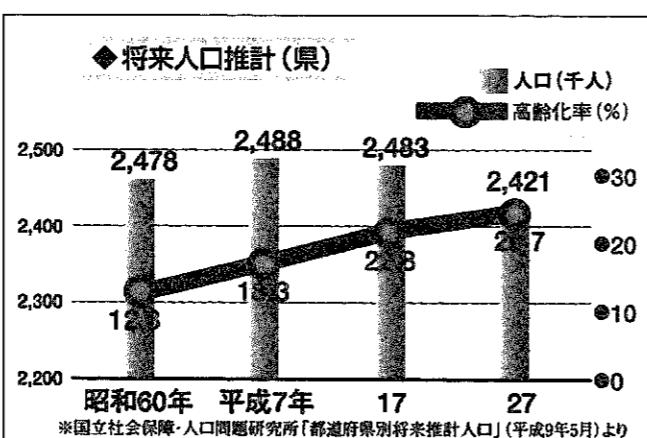
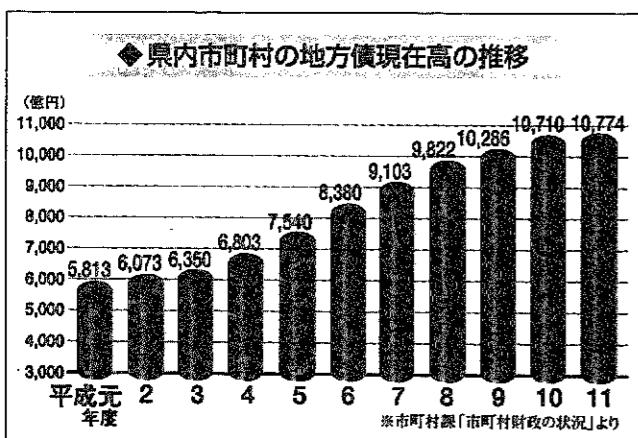
3. 少子・高齢化の進行と人口の減少

少子・高齢化の進行やそれに伴う人口の減少は、地域の担い手の減少につながり、地域全体の活力が低下するとともに、福祉等の財政需要が増大する一方で税収が減るなど、市町村財政の悪化を招くことが見込まれます。

これらは、特に小規模で財政力の弱い市町村にとって、団体維持にかかる深刻な問題となっています。

4. 多様化する住民ニーズ

市町村が地域の課題的確に対応し、行政サービスを充実していくためには、安定した行財政基盤の確保が必要です。



## 県が示す合併パターン（巻町とその周辺）

### ●巻町・西川町・潟東村 人口：48,307人 面積：125km<sup>2</sup>

#### 【市制移行型】

市に移行することで事務権限・自立性を高め、総合的・計画的な行政運営を図る地域

### ●新潟市など4市6町村 人口：750,575人 面積：565km<sup>2</sup>

#### 【政令指定都市移行型】

将来的に政令指定都市を指向し、県発展のけん引役を目指す地域

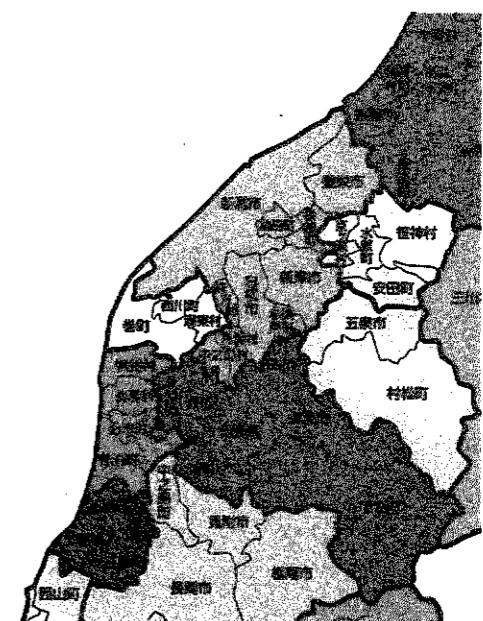
### ●岩室村・弥彦村・分水町・寺泊町 人口：46,528人 面積：159km<sup>2</sup>

#### 【市制移行型】

三条市・加茂市・燕市・吉田町など3市4町村  
人口：223,009人 面積：669km<sup>2</sup>

#### 【特例市移行型】

県の均衡ある発展に寄与し、自立性・拠点性の高い都市への発展を目指す地域



これは、県が示した一つの例。このパターンにとらわれず、合併には、巻町の現況や今後の動態を勘案したうえで、十分な議論が必要です。

### 1. 地方分権の推進

市町村を取り巻く環境の変化と現状を明らかにし、「なぜ今、合併の検討が必要なのか」を考えていかなければなりません。それでは今、何が求められているのでしょうか。

市町村を取り巻く環境の変化と現状を明らかにし、「なぜ今、合併の検討が必要なのか」を考えていかなければなりません。それでは今、何が求められています。

このため、市町村は、行財政基盤の強化や、より高度な能力を備えた職員の確保、さらには組織の見直しなど、効率的な行政体制を整備することが急務となっています。

### 2. 広がる住民の日常生活圏

道路が整備され、マイカーの普及など交通手段は大きく発達し、加えて経済的対策の一つとして、市町村合併が考えられています。しかし、合併は簡単な問題ではありません。それの市町村には固有の歴史や文化などがあり、人々の連帯感があります。また、合併は住民の生活に直接かかわる問題であるだけに期待感がある一方、不安や心理的な抵抗もあることがあります。

合併は、将来のまちづくりの方向を見据え、その必要性を認め、条件が整つて、はじめて可能になります。また、市町村合併を考えていくうえで最も大切なことは、合併を一つの選択肢として、住民の日常生活の実態や、行政サービスの現況などをもとに、冷静に議論を進めいくことです。

次回は、合併に考えられる「メリット」と「デメリット」についてお知らせします。

あなたの意見をお寄せください。

総務課 市町村合併問題担当  
☎72-3131 (内線：214)

メールは  
巻町のホームページ(ふるさと掲示板)  
<http://town.makita.nagata.jp>

合併には、冷静な議論が必要です

これらの対策の一つとして、市町村合併が考えられています。しかし、合併は簡単な問題ではありません。それの市町村には固有の歴史や文化などがあり、人々の連帯感があります。また、合併は住民の生活に直接かかわる問題であるだけに期待感がある一方、不安や心理的な抵抗もあることがあります。

合併は、将来のまちづくりの方向を見据え、その必要性を認め、条件が整つて、はじめて可能になります。また、市町村合併を考えいくうえで最も大切なことは、合併を一つの選択肢として、住民の日常生活の実態や、行政サービスの現況などをもとに、冷静に議論を進めいくことです。

次回は、合併に考えられる「メリット」と「デメリット」についてお知らせします。

なぜ今、市町村合併なのか？

投票に行こう

**參議院議員通常選挙 投票は7月29日(日)**

21世紀最初の国政選挙です。あなたの1票を無駄にしないで投票しちゃう。

新編藏書記

卷頭で掲載できる人

根の方法が變わりま

## ● 役場での不在者投票

卷町選挙管理委

卷町選挙管理委員会

### 【事務室】

卷町役場1階第1会

672-3131



昭和56年7月30日以前に生まれ、平成13年4月11日以前から巻町に住民登録されている方です。（投票所は表1を参照）

\* 4月12日以後に他市町村から転入された方は、前住所地で投票することになります。

\* また、7月1日以降に町内転居された方は、転居前の投票所での投票となります。

これまでの政党名を書いて投票する方法から、「候補者の名前」または「政党名」を書いて投票することになります。

投票には、各町選挙管理委員会の発行する「郵便投票証明書」が必要です。証明書をお持ちでない場合は、証明書の発行に時間がかかりますので、早めの手続きをお願いします。

\*寝たきりの場合でも「表2」に当てはまらない方は、現行法では郵便による不在者投票はできません。

今回の選挙では、2種類の投票用紙を使います。

前回の参議院選挙と同じく、新潟県選出候補者の「候補者名」を投票用紙に書いて投票します。

投票には、各町選挙管理委員会の発行する「郵便投票証明書」が必要です。証明書をお持ちでない場合は、証明書の発行に時間がかかりますので、早めの手続きをお願いします。

\*寝たきりの場合でも「表2」に当てはまらない方は、現行法では郵便による不在者投票はできません。

**選挙公報を配布します**

表1 投票所

投票所	場 所	対象地区
第1投票所	町 営 体 育 館	1区・2区・4区・5区・6区・7区・8区
第2投票所	つくし保育園	3区・堀山団地・安尻・下和納
第3投票所	役 場	9区・10区・11区・12区・中郷屋・葉萱場・農業大学校
第4投票所	保 健 セン タ ー	東6区・グリーンハイツ・白寿荘・鴻頭・赤鎧
第5投票所	やすらぎ会館	13区・桔梗ヶ丘・割前・東汰上・羽田
第6投票所	漆山西保育園	桜林・栄町・並岡・馬堀上組・十二原・中組・高畑・下組・西下組・河井・柿島・山島・庚午団地
第7投票所	漆山東保育園	漆山1の丁~8の丁・東町
第8投票所	かきの実保育園	竹野町・平成団地・前田・仁箇・すばる台・布目・稻島・伏部・鷺ノ木(一部)・天神町
第9投票所	入徳館野外研修場	松郷屋・平沢・福井・峰岡・舟戸・上木島・下木島・鷺ノ木
第10投票所	松野尾保育園	松野尾浦組・下組・前組・町組・興業第1・興業第2・新月・松山・大原
第11投票所	七浦保育園	角田浜・越前浜
第12投票所	四ツ郷屋分館	四ツ郷屋
第13投票所	ふるさと会館	五ヶ浜

表2 郵便による不在者投票のできる方

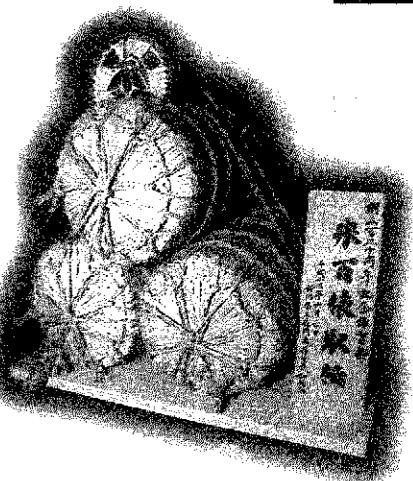
障害の程度		
該当となる障害	身障者手帳を持っている方	戦傷病者手帳を持っている方
両下肢障害体幹の障害	1級もしくは2級	特別項症から第2項症
心臓障害 じんぞうじやうがい 呼吸器障害 ほききじやうがい ぼうこうじやうがい 直腸・小腸障害 ぢゆつらく・こりょうじやうがい	1級もしくは3級	特別項症から第3項症
障害の程度が上記に該当する方	県知事が証明した方	

# 次代につなげ 米百俵

百三十年の歳月を経て、三根山の地から再び長岡へ



出発前の激励会に臨む長岡高校生。  
脳裏に浮かぶのは先人たちの苦労か。



■ 小泉首相の所信表明に引用され、一躍全国的に知られるようになった故事「米百俵」。

戊辰北越戦争後、極度に困窮していた長岡藩に対し、三根山藩から米百俵が贈られたのは、明治三年(1870)春のこと。

それから百三十年あまりの歳月を経た6月20日、県立長岡高校の生徒により、再び三根山の地から長岡へと米俵が届けられた。

経た6月20日、県立長岡高校の生徒により、再び三根山の地から長岡へと米俵が届けられた。

■ 三根山藩から贈られた「米百俵」をもとに、長岡藩大参事「小林虎三郎」らにより設立された国漢学校。その流れをくむ県立長岡高校(丸山敬校長)は今年、創立百三十周年を迎える。

「米百俵リレー」は、長岡に根付いた米百俵の精神を将来にわたって引き継いでいこうと、生徒会が中心となって記念体育祭のイベントとして企画された。

■ リレー前日の6月19日、出発会場となる三根山藩邸跡「入徳館野外研修場」では、町職員らにより出発グローブやライトアップ用の電灯の設置をはじめ、宿泊する生徒らのために手作りの「カツカレー」など食事の準備が進められていた。降り続く雨が気にかかる。

午後6時過ぎ、前半区間を走る生徒や引率教諭ら20人が入徳館に到着。降りしきる雨の中、三根山有終団の案内で、三根山藩址の碑や米俵の碑などを見学、三根山藩の歴史などについて説明を受けた。

その後、入徳館野外研修場で助役、教育長、三根山有終団を交え交歓会が行われた。交歓会では、長岡市長からの親書が助役に手渡され、また、TBSの取材クルーが訪れて企画された。

■ 6月20日午前3時、夜明け前の入徳館はまだ暗闇の中。夜半まで降り続いた雨は見事に上がっている。町職員は会場の最終準備に取り掛かっていた。会場はライトアップされ、三根山藩址は幻想的な風情に。

午前3時半過ぎ、生徒は背中に「米百俵」と書かれた揃いのTシャツに身を固め会場に姿を現した。会場に人が激励に集まっていた。

「米百俵が三根山藩から長岡藩に贈られたのは、幕末動乱後の明治三年春のこと。それから百三十年を経た今日、再び三根山の地から長岡へと米俵が運ばれる。・・・米俵に先人への畏敬の念を込め、将来にわたり長岡市と巻町との友好関係が悠久の大なものであつたと思います。」

長岡市と巻町との友好関係が悠久であるよう願う」と、町長が長岡市へ託すと、集まつた人々から大きな拍手がわいた。

■ うつすらと空が白み始めた午前4時、ほら貝の音を合図に5人の第一走者がスタート。熱い声援を受けて一路、長岡を目指した。

リレーは、峰岡から長岡までのおよそ45kmの道程を10区間、延べ47人の生徒たちがミニチュアの米俵と町長の親書を抱え走りつなぐ。岩室一弥彦一分水一中之島を経て長岡入りを目前にした午前6時、無情にも雨が降り出す。生徒たちはびしょ濡れになりながらも米俵を抱えて走りぬき、午前7時半過ぎに長岡駅に到着した。

ここから二手に分かれ、長岡市役所と長岡高校と同じく国漢学校を源とする阪之上小学校を訪問、町長から託された親書を手渡した。

米百俵リレーのゴールは体育祭の開会式。降り続く雨のため、体育祭は翌日に延期となつた。6月21日に

行われた体育祭では、前日のリレーに参加した全走者が走って開会式に

入場。町長から託された親書の最後の一通と、雨の中を皆で走りつない

できた米俵を丸山校長に手渡した。

精神はそれぞれの地で、そ

してしっかりと受け継がれていこうことだ。

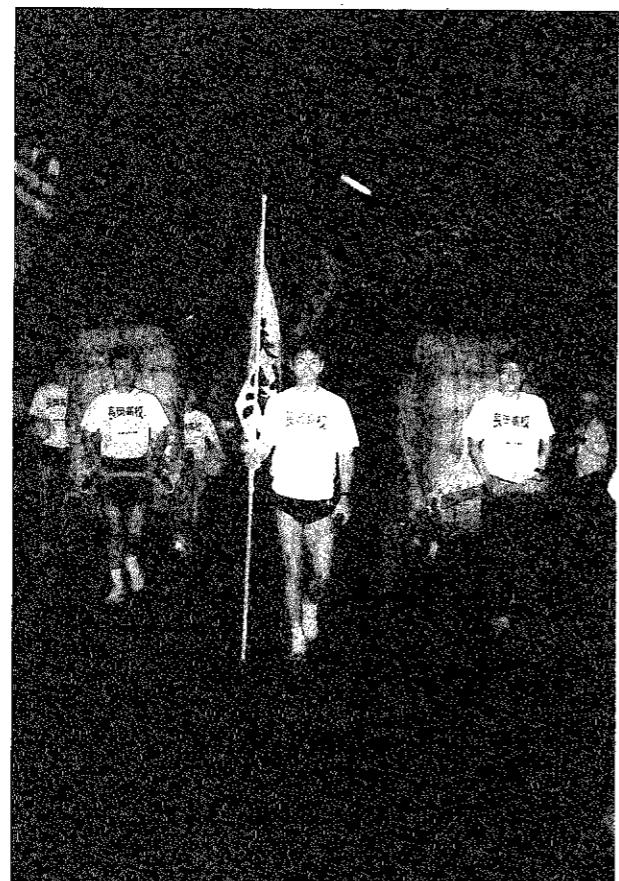
長岡市長に町長からの親書を手渡す。

写真提供：長岡新聞社



阪之上小学校では多くの児童が出迎え、町長からの親書を受け取った。

写真提供：長岡新聞社



午前4時、暗闇のなか入徳館野外研修場を出発。途中まで米俵を載せた大八車を引く。出発の際には、地元峰岡をはじめ多くの人々が激励に訪れた。

## 長岡市長からの親書

今から百三十年前の春、我が長岡は、戊辰戦争の難禍により焦土と化しておりました。その

ような折、旧三根山藩より、熟練米として百俵の米が贈られました。熟練の未入心荒廃し、日々食つに暮れく窮乏の状況はいかばかりであったかと推察するところであり、旧三根山藩の温厚に対する旧長岡藩士の感謝の念は多大なものであつたと思ひます。

当時の長岡藩主・小林虎三郎は、その實業な熟練米を藩士に分配せず、教育こそ人間形成の基盤であるとし、充り私財で学校の資金に充て、種費のなかから国漢学校を設立しましたことは周知のとおりであります。この國漢学校には、身分の低い子や百姓の人の子をも入学させ、多くの達材の健将を輩出させた恩を作り、見事に長岡を立ち麗らせました。この「米百俵」の故事は、今も長岡市民の心の中に懐々と受け継がれてきてあります。まさに三根山藩あつての今日の長岡と蓄えますよ。

長岡市長 緑 民夫



**がんばりました**

第三回 卷之二 小学校体育祭

1500m

## ■走り高跳び

2位 古寺広幸・川本弘太・北川直弥・

広報まき 7・10・2001 11

# がんばりました。

第2回 卷町小学校体育祭

6月7日

卷南小学校

■ 1500m

【5年生男子】

1位	田中 一希 (漆山)	5分47秒4
2位	田村 勇樹 (卷北)	5分24秒2
3位	坂口 裕太 (卷北)	5分32秒3

■ 800m

【5年生女子】

1位	西山 有沙 (卷北)	2分55秒3
2位	陶山 美幸 (卷南)	3分1秒1
3位	本田明日香 (卷北)	3分7秒1

■ 走り幅跳び

【5年生女子】

1位	板井あゆみ (卷北)	2分46秒1
2位	目黒 愛香 (卷南)	2分49秒0
3位	土橋 美里 (卷北)	2分54秒1

■ 走り幅跳び

【5年生男子】

1位	笠原 阳 (漆山)	3m
2位	佐藤 朗 (卷北)	3m
3位	永井 亮太 (卷北)	44m 56m

■ 80mハードル

【6年生男子】

1位	頼所 拓也 (卷南)	14秒5
2位	川本 弘太 (卷北)	14秒5
3位	吉田 貴洋 (卷北)	14秒9

■ 5年生女子

【6年生女子】

1位	鈴木ゆかり (卷北)	14秒1
2位	寺島 亜紀 (卷南)	14秒1
3位	森山 美音 (卷南)	14秒9

■ 5年生男子

【6年生女子】

1位	佐藤あゆみ (卷北)	3m
2位	須原 香 (卷北)	3m
3位	田辺 倫子 (卷北)	47m 58m

■ 5年生男子

【6年生女子】

1位	佐藤あゆみ (卷北)	3m
2位	須原 香 (卷北)	3m
3位	田辺 倫子 (卷北)	4m 6m

■ 5年生男子

【6年生女子】

1位	古寺 広幸 (卷北)	4m 16m
2位	岡 大樹 (卷北)	4m
3位	長谷川 照 (漆山)	4m 3m

■ 5年生男子

【6年生女子】

1位	堂谷翼・岡大樹・小林滋幸・大平悟史 (卷北)	1分0秒7
2位	古寺広幸・川本弘太・北川直弥・高橋優也 (卷北)	1分2秒2
3位	武田翔太郎・富山友樹・長谷川熙・佐々木一輝 (漆山)	1分2秒8

■ 走り高跳び

【5年生男子】

1位	高橋 周平 (漆山)	121cm
2位	大平 真也 (卷北)	118cm
3位	堀 友輝 (卷南)	100cm

■ 5年生女子

【6年生女子】

1位	濱田 智枝 (卷北)	108cm
2位	長谷川美咲 (卷南)	100cm
3位	成田 悠 (卷北)	100cm

■ 5年生男子

【6年生女子】

1位	五十嵐亮太 (漆山)	121cm
2位	笛口 純 (松野尾)	115cm
3位	上原 拓 (卷北)	110cm

■ 5年生女子

【6年生男子】

1位	五十嵐亮太 (漆山)	121cm
2位	笛口 純 (松野尾)	115cm
3位	上原 拓 (卷北)	110cm

■ 5年生女子

【6年生男子】

1位	五十嵐亮太 (漆山)	121cm
2位	笛口 純 (松野尾)	115cm
3位	上原 拓 (卷北)	110cm

■ 5年生男子

【6年生女子】

1位	森山 美音・長谷川貴子・大岩真伊子・寺島亜紀 (卷南)	1分4秒0
2位	・武石咲希 (卷北)	1分3秒3
3位	・五十嵐美弥 (卷北)	1分0秒7

■ 5年生女子

【6年生男子】

1位	笠原 阳 (漆山)	110cm
2位	田畠香菜子 (卷北)	110cm
3位	雨木 瑞美 (卷南)	110cm

■ 5年生男子

【6年生女子】

1位	千野遼平・番雄基・田村裕・眞柄悠 (卷北)	1分4秒9
2位	阿部耀介・小川貴英・佐藤翔・藤口洸 (越前)	1分5秒5
3位	笠原陽・田辺忠幸・樋口大輔・佐藤貴輝 (漆山)	1分6秒2

■ 5年生男子

【6年生女子】

1位	伊藤麻美子・佐藤有華・福田彩香 (卷北)	1分5秒8
2位	・小林李恵子 (卷北)	1分5秒8

第7回 卷町わんぱく相撲大会

6月17日 愛宕神社

【3年生以下の部】

優勝 横口 創一 (五泉市相撲連盟)

【4年生の部】

優勝 横口 創一 (五泉市相撲連盟)

【5年生の部】

優勝 横口 創一 (五泉市相撲連盟)

【6年生の部】

優勝 横口 創一 (五泉市相撲連盟)

【7年生の部】

優勝 横口 創一 (五泉市相撲連盟)

優勝 佐渡地区相撲連盟

6月から、「し尿の収集方法」が変わりました。

6月から、し尿収集(くみ取り)については、町内を2分割して、巻町の委託業者が分担収集しています。

\* 浸水被害に遭われた場合には、収集手数料が减免の対象となりますので、その旨、業者に電話連絡をお願いします。

収集手数料の納入は、便利なスマートで

収集（くみ取り）手数料の納入は、便利で確実な「口座振替」をお勧めしています。口座振替の手続きは、町内金融機関の窓口で受け付けています。なお、現在「口座振替」をご利用中で、収集業者が変更となった場合、手続きの必要はありません。

●問合せ：生活環境課 生活環境係 ☎72-3131（内線：141） ●作業日程の問合せ：上記の業者

卷サッカークラブ 第25回全日本少年サッカー大会



年サッカー新潟県大会  
陸上競技場で開催され  
「一クラブ」(玉木正和  
み、4位に入賞しま  
カー協会などが主催し  
本一を決めるもの。新  
ームが参加し、6月は  
行われてきました。但  
少団と対戦しましたが、  
3位決定戦にまわった  
少年団と善戦の末0対  
た。  
はど前に結成され、巻  
動を続けてきました。  
生31人が所属し、巻北  
母週日曜と第2・第4  
ます。  
リーグや代表チーム  
るといいですね。

 Maki Town Info. vol. 847

Maki Town Info, vol. 847

# まちの話題

やめよう！ポイ捨て  
たばこ販売組合がクリーン作戦



6月11日、巻地区たばこ販売組合（有田悟支部長）が巻駅周辺のクリーン作戦を行いました。

これは、同組合がたばこを販売している立場から、少しでも環境美化に役立ちたいと10年ほど前から取り組んでいるもの。この日は、およそ20人の組合員が大きな袋を手に、草むらや側溝などに捨てられた吸殻や空き缶などのゴミを拾い集めました。

最近は、勝手や気ままなど自己中心の「ジコ虫」が増殖中。「吸殻や空き缶などの始末は、自分でする」。当たり前のモラルさえ守れない人が増えてきています。公共の場は、みんなの共有財産。ゴミのない巻町を目指していきましょう。



## 新しい行政区「あはる台ニュータウン」誕生！

巻町で77番目の行政区「すばる台ニュータウン」が7月1日に誕生しました。仁箇から分離したこの区は、新しい家が立ち並び、まさにニュータウン。これから、ひとつのコミュニティとして地域活動を行っていきます。区長は、「金子鉄雄」さん。みなさん、よろしくお願いします。

「いきいき」コミュニケーション  
7月は“社会を明るくする運動”  
強調月間

「社会を明るくする運動」は、今年で51回を迎えます。地域に根ざした、だれもが参加できる幅広い活動を展開し、この運動の効果的な推進を期しています。市町村においても、この活動が活発に行われるよう協力をお願いします。

6月13日、法務大臣からのこのメッセージが、巻町保護司連絡協議会長の佐伯幸雄さんから町長に手渡されました。



“社会を明るくする運動”は「ふれあいと対話が築く明るい社会」をテーマに、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。子どもも大人も、みんなが「いきいき」とした地域づくりを目指しています。

巻町では、各団体や地域にリーフレットなどを配布し、この運動の啓発に努めています。心と心をつなぐ「いきいき」コミュニケーション。あなたも今日から始めてみませんか？

関心の高さを示した「米百俵」  
文化会館でビデオ上映

6月16日、巻町文化会館で「米百俵 小林虎三郎の天命」の上映が行われ、会場は満員盛況となりました。

小泉首相が所信表明で引用して以来、全国的に関心の高まった「米百俵」。今の痛みに耐えて、将来をよくしようとするこの故事は、ご存知のとおり長岡で生まれました。

その故事の基になった米百俵は、三根山藩（現在の峰岡）が、戊辰北越戦争の敗戦で窮屈する長岡藩に対して、救援米として贈ったもの。上映の前には、三根山藩の遺風を継ぐために活動する（財）三根山有終団理事長の成田彬さんから、三根山の歴史が紹介されました。

「三根山は長岡の支藩。当時、藩の財政がひっ迫しているなか、長岡の宗家に対して米を贈った先人に対し敬意を払う。地元として誇りに思っている」と、感慨深く話されました。



将来のために、人材育成を第一義とした「米百俵の精神」。巻町では、三根山有終団からの浄財を基金として、毎年小・中学生のボランティア活動に対し顕彰を行っています。

目指せ インターハイ！  
北信越高校ホッケー選手権

6月16日～17日、城山運動公園を会場に、「第23回北信越高等学校ホッケー選手権大会」が開催されました。

この大会は、8月に熊本で開催されるインターハイ（全国高校総合体育大会）の予選を兼ね、北陸・信越地区から男子5チーム、女子5チームが参加。巻町からは、巻工業高校（男子）、巻高校（女子）が出場しました。

前日来の雨が心配されましたが、当日は雨も上がり、まずまずのグラウンドコンディション。選手は総当たりのリーグ戦で覇を競いました。

巻町から出場した巻工業高校は、2勝2敗の3位、巻高校は2分け2敗で同じく3位。両校とも惜しくもインターハイ出場を逃しました。



7月3日に海開き！

# 海がまっています。

角田浜 越前浜 四ツ郷屋 浦浜(五ヶ浜)

# まつやまかけい

非常時に備える「消防団」  
小型ポンプ操法大会



6月24日、今年で30回を数える「巻町消防団小型ポンプ操法大会」が消防署を会場に行われました。

巻町の消防団は、各地区に7分団が組織され、およそ540人の消防団員が非常に備えています。

この日は、各分団から選出された精銳が4人一組でチームを作り、小型ポンプを使った消火活動の技術を競いました。指揮者の号令とともに、機敏な動きでホースを伸ばし、「放水始め！」。キビキビとしたひとつひとつ行動は、日ごろの鍛錬を伺うことができます。

競技の結果、松野尾地区の第5分団が見事に優勝。7月8日に弥彦村で開催された西蒲原の郡大会に、巻町を代表して出場しました。



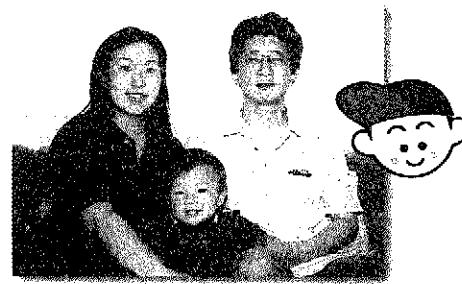




## まちの

## にゆ一いす

青山 拓未くん [東6区: 1歳2か月]



●バ バ: 正範さん ●マ マ: 明子さん

●名前の由来: 明るい未来を開拓する力強い子になってほしいと願いを込めて。

●名付け親: ババ

●最近の: ヨーグルト、納豆、バナナ、散歩、かくお気に入り れんほ、おもちゃの車で遊ぶこと、そして、「どんぐりの舎」の広い空間で元気いっぱい遊ぶことが大好き。

●両親からのメッセージ: 元気にすくすく育ってね!

取材中、「何してるの?」とノートをのぞき込みに来る、はにかんだ笑顔がとってもかわいい『たっくん』です。

## お誕生日

## おめでとう

(6月16日~30日届出分)

名前	誕生日	父 母	地 区
渡邊 優里香	6.11	謙一・奈緒子	13 区
遠藤 竜巳	6.12	謙二・千晶	赤 鏡
森 英光	6.14	茂行・紀子	東 6 区
阿部 祭	6.15	英喜・美雪	平 沢
佐藤 満	6.21	晶広・真美	3 区

## ごめい福を

## お祈りします

(6月16日~30日届出分)

名前	亡くなった日	年 齢	地 区
渡邊 キク	6.18	78	13 区
澤栗 倉一	6.24	75	葉 葦 場
岩崎 貞一郎	6.27	62	松野尾前組
桝澤 實	6.28	61	3 区

\* 4月1日から「障人情報保護条例」を施行したことと伴い、「お誕生おめでとう!」「ごめい福をお祈りします!」欄は、掲載の同意があった方を並載しています。

## 農業委員会委員選挙のお知らせ

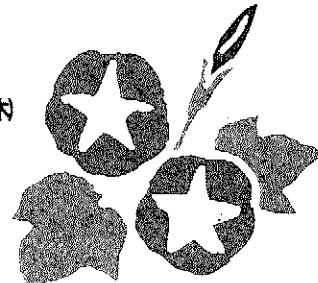
任期満了に伴う「農業委員会委員」の選挙が下記の日程で行われます。

## ●立候補予定者説明会

平成13年7月19日(木)

午前9時30分から

役場3階大会議室



## ●立候補届出受付

平成13年8月2日(木)

午前8時30分から午後5時まで

役場1階第1会議室

## ●選挙期日

平成13年8月7日(火)

## ●問合せ

巻町選挙管理委員会 ☎72-3131

## ご厚意に感謝します

次の方々から、町に寄贈を頂きました。ありがとうございました。

●新潟県遊技業協同組合（堀川三雄理事長）から、あすなろ児童クラブと住吉児童クラブに、「29型、25型テレビ・専用台セット」をそれぞれ1台。

●眞島伝次さん（3区）から、巻東中学校に「あじさいの花壇（F50）」。

## お詫びと訂正

次の事項に間違いがありました。お詫びして訂正します。

●6月25日号「ごめい福をお祈りします」

【誤】廣川 弘

【正】廣井 弘（81歳・平沢）

\* 6月6日に亡くなられました。謹んでごめい福をお祈りします。

## しゃつを=ちやれあ=春祭のはなし

## 「ほたるまつり」は、大盛況！

6月23日、福井「ほたるの館」（農村環境改善センター）を会場に、福井地区の手作りの祭「ほたるまつり」が開催されました。この祭もすっかり定着し、今年すでに10回目。この日はお天気にも恵まれ、たくさんの人でぎわいました。

ホールでは、大正琴や日本舞踊の発表、マジックショーが行われ、観衆は拍手喝采。一方施設の外では、焼きそばや焼き鳥、漬物などの手作り露店が並び、地酒やワイン、地ビールの試飲と合わせ、行列ができるほど大盛況となりました。また、地元福井の子どもたちによる手書きの灯ろうが、祭にあでやかな彩りを添えていました。

フィナーレは、巻町の誇る太鼓集団「越王太鼓」の演奏。勇壮な太鼓の音が、会場いっぱいに響き渡りました。もう少しすると梅雨明け。この祭が終わると、ほたるの里にも本格的な夏がやってきます。

